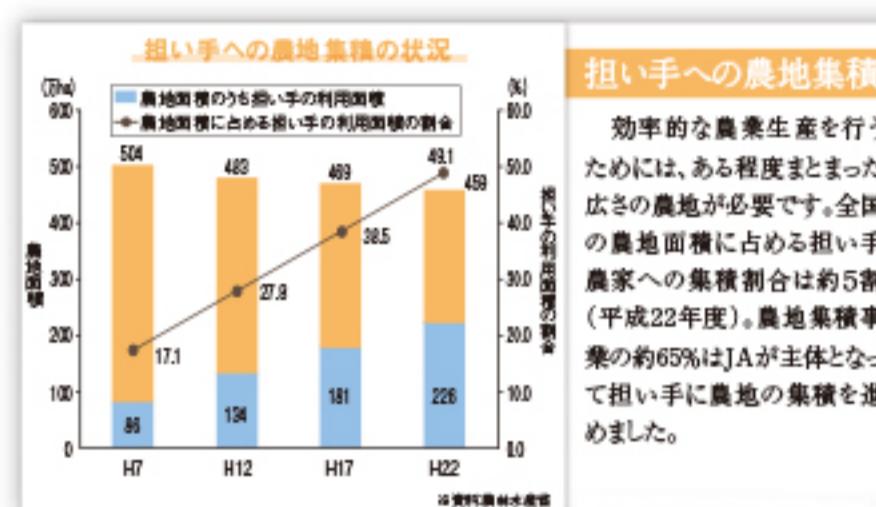
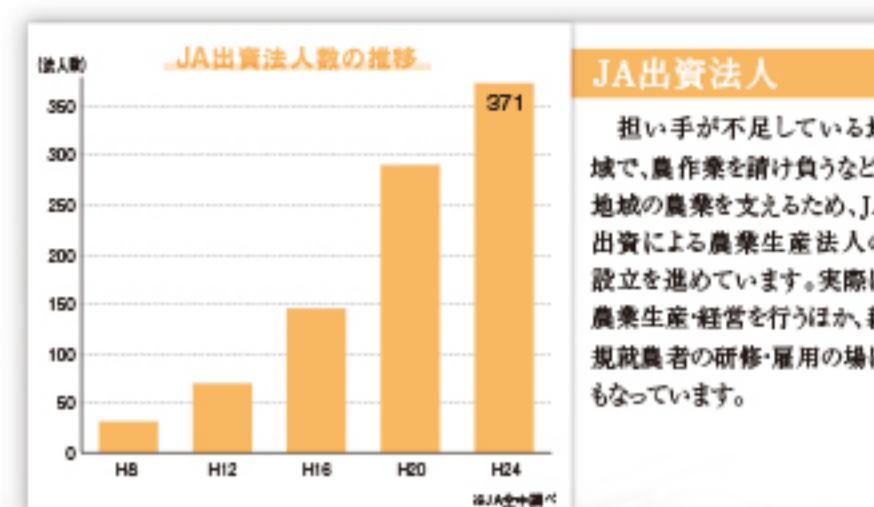


# JAグループは農を営む人びとを支えています。



## 担い手への農地集積

効率的な農業生産を行うためには、ある程度まとまった広さの農地が必要です。全国の農地面積に占める担い手農家への集積割合は約5割(平成22年度)。農地集積事業の約65%はJAが主体となって担い手に農地の集積を進めました。



## JA出資法人

担い手が不足している地域で、農作業を請け負うなど、地域の農業を支えるため、JA出資による農業生産法人の設立を進めています。実際に農業生産・経営を行うほか、新規就農者の研修・雇用の場にもなっています。



生産者に栽培指導をするJAそお鹿児島(鹿児島県)の営農指導員

## 6次化ファンド

農業者の生産・加工・流通の一一体化をかるる6次産業化の取り組みを応援しています。この取り組みを進めるため、農業者がパートナー企業とともに会社を設立するにあたり必要な資金をサポートする国内最大規模100億円のファンドを立ち上げました。



## 営農指導

農家の相談相手となり農業技術や経営指導を行っているのが、JAの営農指導員。全国約1万5,000人が農家の要望を聞き取り、経営をサポートしています。また、担い手農家に出向くJA担当者「TAC(タック)」の設置を進め、担い手農家の要望に応えています。

## 農業経営管理支援の取り組み



## 経営管理支援

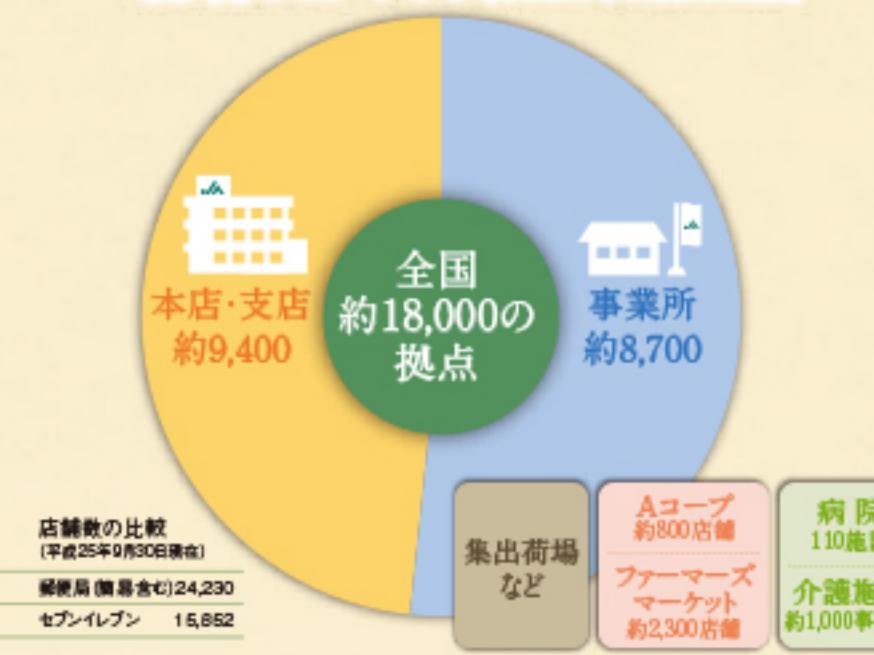


## 農とくらしの助けあい



農業や地域社会のため、多様な事業に取り組んでいます  
地域の農業者のサポートをはじめ、貯金の受入や融資などの信用事業、万一に備える共済事業など、多様な事業を行っています。近年では、高齢者福祉や食農教育など、地域社会のつながりを高める活動にも力を入れています。

## 総合JA 703 (平成25年10月1日現在)



## 全国で地域社会の拠点となっています

全国約18,000の拠点を通じて、組合員・地域住民に多様なサービスを提供し、豊かな地域社会づくりに貢献しています。また、県段階・全国段階では、事業ごとの連合会によりJAの事業運営をサポートしています。

## 組合員

980万人 (平成23年)

農業者・地域住民により構成



農を基軸として地域に根ざした協同組合です

JAは、地域に根ざして全ての人を開かれた組織です。出資金を払って組合員になっていただくことで、誰もがJAの事業を利用することができます。



大地がくれる絆を、もっと。 JAグループ

